

2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ

- 2.1 価値観とセクシュアリティ
- 2.2 人権とセクシュアリティ
- 2.3 文化、社会とセクシュアリティ

学習目標 (5～8 歳)

キーアイデア：

- ・ 価値観とは、重要な問題について個人、家族、コミュニティが持つ強い信念のことです。

学習者ができるようになること：

- ▶ 価値観を定義する。(知識)
- ▶ 平等、尊重、受容、寛容など、重要な個人的価値観を明らかにする。(知識)
- ▶ 価値観や信念が、人生や人間関係についての意思決定の指針となることを説明する。(知識)
- ▶ 個人、仲間、家族、コミュニティでは、それぞれが異なる価値観を持ちうることを認識する。(態度)
- ▶ 自分たちが持っている価値観を共有する。(スキル)

学習目標 (9～12 歳)

キーアイデア：

- ・ 家族やコミュニティから伝えられる価値観や態度は、性やセクシュアリティについて学ぶ情報源であり、私たちの個人的な行動や意思決定に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性やセクシュアリティについて、何をどのように学ぶのかを教えてくれる価値観や態度の情報源（親、保護者、家族、コミュニティ）を明らかにする。(知識)
- ▶ 一部の親や保護者が価値観を子どもに教えたり、例として見せたりする方法を説明する。(知識)
- ▶ ジェンダー役割への期待や平等に影響を与える価値観について説明する。(知識)
- ▶ 家族やコミュニティの価値観や態度が、行動や意思決定に影響を与えることを認識する。(態度的)
- ▶ 家族から学んだ価値観について考える。(スキル)

学習目標 (12～15 歳)

キーアイデア：

- ・ 自分自身の価値観、信念、態度を知り、それらが他者の権利にどのように影響を与えるかを知り、それらを守るためにどう立ち上がるかを知ることが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ セクシュアリティと生殖の健康のさまざまな問題について、自分の個人的な価値観を説明する。(知識)
- ▶ 個人的な価値観が意思決定や行動にどのように影響するかを例示する。(知識)
- ▶ 個人的な価値観が他者の権利にどのような影響を与えうるかを説明する。(知識)
- ▶ さまざまな価値観、信念、態度を尊重し、寛容であることの重要性を認識する。(態度)
- ▶ 自分の個人的な価値観を守る。(スキル)

学習目標 (15~18 歳以上)

キーアイデア：

- ・ 自分の価値観、信念、態度を知ることは、それらに一致した性的行動をとるために重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ セクシュアリティと生殖の健康に関する自分の価値観と一致する行動としない行動を比較対照する。(知識)
- ▶ 自分の価値観がどのように性的行動の指針となっているかを認める。(態度)
- ▶ 自分の価値観に導かれた性的行動を選ぶ。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 子どもは成長するにつれて、自分の価値観を持つようになります。それは親や保護者とは異なる価値観かもしれません。

学習者ができるようになること：

- ▶ セクシュアリティに関する自分の価値観と、親や保護者の価値観を区別する。(知識)
- ▶ 自分の価値観が親や保護者と異なる場合があることを認識する。(態度)
- ▶ 価値観の違いによる家族との衝突を解決する方法を実際にやってみる。(スキル)

2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ

2.1 価値観とセクシュアリティ

2.2 人権とセクシュアリティ

2.3 文化、社会とセクシュアリティ

学習目標 (5~8 歳)

キーアイデア：

- ・ すべての人に人権があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 人権を定義する。(知識)
- ▶ 誰にでも人権があり、それは尊重されるべきであることを認識する。(態度)
- ▶ 人々の人権に対する支持を表現する。(スキル)

学習目標 (9~12 歳)

キーアイデア：

- ・ 自分の権利を知ること、人権が国内法や国際協定にも定められていることを知るのは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 人権の定義と、それがすべての人にどのように適用されるかを再認識する。(知識)
- ▶ 普遍的な人権や子どもの権利を定めた国内法や国際協定をあげる。(知識)

- ▶世界人権宣言や子どもの権利条約など、国内法や国際協定で定められている子どもの権利を認識する。(知識)
- ▶人権と、人権はすべての人に適用されることを認める。(態度)
- ▶自分たちが享受している権利について考える。(スキル)

学習目標 (12~15 歳)

キーアイデア：

- ・すべての人の人権には、性と生殖に関する健康に影響を与える権利が含まれています。

学習者ができるようになること：

- ▶性と生殖に関する健康に影響する人権について説明する。(知識)
- ▶これらの権利に影響する地域や国内の法律について議論する。(知識)
- ▶これらの権利の侵害を認識する。(知識)
- ▶社会の中には、人権侵害の影響を受けやすい人がいることを認識する。(態度)
- ▶性と生殖に関する権利を含め、すべての人の人権への尊重をはっきりと示す。(スキル)

学習目標 (15~18 歳以上)

キーアイデア：

- ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権を取り扱う地域法や国内法、国際協定があります。

学習者ができるようになること：

- ▶CEFM(児童婚・早期婚・強制婚)、女性性器切除/切断、インターセックスの子どもたちへの同意のない手術、強制不妊手術、性交同意可能年齢、ジェンダー平等、性的指向、ジェンダーアイデンティティ、妊娠中絶、レイプ、性的虐待、性的人身取引などに関する地域や国の法律や政策、性と生殖の健康に関わるサービスや生殖の権利へのアクセスを分析する。(知識)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権侵害を具体的に例示する。(知識)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権を認める。(態度)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権をサポートする地域や国の法律を求めて社会に呼びかける。(スキル)

キーアイデア：

- ・性と生殖に関する健康に影響を与える人権を知り、推進することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶友だちとの間、家族、学校、コミュニティにおいて人権を促進する方法を調べる。(知識)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権や、差別や強制、暴力のない状態で生殖に関する意思決定を行う権利を促進することがなぜ重要なのかを認識する。(態度)
- ▶性と生殖に関する健康に影響を与える人権を推進するための行動をとる。(スキル)

2 価値観・人権・文化・セクシュアリティ

- 2.1 価値観とセクシュアリティ
- 2.2 人権とセクシュアリティ
- 2.3 文化、社会とセクシュアリティ

学習目標 (5～8 歳)

キーアイデア：

- ・ 自分自身、自分の感情、自分のからだについて学ぶのに役立つ情報源はたくさんあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ 自分自身や自分の感情、自分のからだを理解するのに役立つ情報源（例：家族、個人、仲間、コミュニティ、ソーシャルメディアを含めたメディア）を挙げる。（知識）
- ▶ 家族やコミュニティから学んだ価値観や信念が、自分自身や自分の感情、自分のからだについての理解の指針となることを認識する。（態度）
- ▶ 信頼できる大人を見つけ、自分の感情やからだについての疑問をどのように質問するかははっきりと示す。（スキル）

学習目標 (9～12 歳)

キーアイデア：

- ・ 文化、宗教、社会は私たちのセクシュアリティの理解に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 文化、宗教、社会がセクシュアリティの理解にどのような影響を与えているか、例を挙げて説明する。（知識）
- ▶ 各地域の、異なる文化を超えて行われている、成人期へのさまざまな通過儀礼を説明する。（知識）
- ▶ 時代とともに変化してきたセクシュアリティに関する文化的、宗教的、社会的な信念や慣習を明らかにする。（知識）
- ▶ セクシュアリティに関する多様な信念があることを認める。（態度）
- ▶ セクシュアリティに関する多様な慣習とすべての人の人権への尊重をはっきりと示す。（スキル）

学習目標 (12～15 歳)

キーアイデア：

- ・ 社会的、文化的、宗教的な要因は、社会でどんな性的行動が許容される、あるいは許容されないと考えられるかに影響を与え、これらの要因は時間の経過とともに進化します。

学習者ができるようになること：

- ▶ 社会的・文化的規範を定義する。（知識）
- ▶ 社会における性的行動に影響を与える社会的・文化的規範と、それが時間の経過とともにどのように変化するかを調べる。（知識）
- ▶ 社会的・文化的規範は時間の経過とともに変化する可能性があることを認識する。（態度）
- ▶ 社会における性的行動に影響を与える社会的・文化的規範に問題意識を持つ。（スキル）

学習目標 (15～18 歳以上)

キーアイデア：

- ・ 自分自身の視点を養いながら、社会的・文化的規範がどのように性的行動に影響を与えるかを認識することが重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的行動や性の健康にポジティブまたはネガティブな影響を与える社会的・文化的規範を比較対照する。（知識）

- ▶性的行動に対する自分の視点を養うことの重要性を認める。(態度)
- ▶自分が大切にしている社会的・文化的規範と、それらがセクシュアリティや性的行動に関する個人的な信念や感情にどのように影響を与えているかを考える。(スキル)